

会長挨拶

第 40 回日本糖尿病・肥満動物学会年次学術集会

会長 窪田 直人

(熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学講座 教授)

このたび、第 40 回日本糖尿病・肥満動物学会年次学術集会を、2027 年 3 月 5 日（金）・6 日（土）の 2 日間、熊本大学病院くすのきテラス（熊本大学本荘北地区内）にて開催させていただくこととなりました。第 40 回という節目の年に、歴史ある本学術集会を熊本の地で初めて開催できますことを大変光栄に存じます。また全国からご参加いただく皆様をお迎えできますことを、心より嬉しく思っております。

日本糖尿病・肥満動物学会は、糖尿病および肥満動物を用いた基礎研究を通じて、糖尿病学ならびに肥満症学の発展を図ることを目的として、1987 年 1 月に「日本糖尿病動物研究会」として発足いたしました。その後、2007 年 2 月の学会化に伴い「日本糖尿病・肥満動物学会」へと改称し、今日に至っております。学会員および大会参加者は、糖尿病学・肥満症学にかかわる医学、薬学、農学、獣医学などの研究者をはじめ、医師、学生、臨床検査技師、薬剤師など、多様な専門分野の方々によって構成されています。

近年の糖尿病・肥満症治療の進歩は、動物実験を基盤とした基礎研究の積み重ねに支えられてきました。本学術集会には毎年 150 名近い参加者が集い、動物実験を用いた基礎研究という立場から、糖尿病学・肥満症学の発展、さらには社会への貢献を目指して活発な議論が交わされています。また、本学会は第 36 回年次学術集会より日本糖尿病学会の分科会となり、日本糖尿病学会とより緊密に連携しながら、動物実験を中心とした基礎研究を推進する重要な役割も担っております。

本大会のテーマは、「温故知新」です。第 40 回という記念すべき節目にあたり、先人たちが築いてこられた研究の礎に学びつつ、糖尿病・肥満症研究のさらなる発展につながる活発な交流と議論が生まれることを期待しております。特別講演として国家公務員共済組合連合会虎の門病院 院長 門脇 孝先生をお招きするほか、企業共催セミナー、シンポジウム、Young Investigator Awards、一般演題、また第 39 回年次学術集会で好評を博しました若手研究者が企画する日本糖尿病・肥満動物学会、日本糖尿病学会将来計画委員会との共同企画などを予定しております。

熊本の 3 月は比較的気候も安定しており、会場は市街地からのアクセスにも恵まれた場所にございます。ぜひ現地にてご参加いただき、熱い議論を繰り広げていただきますとともに、熊本の魅力にも触れていただければ幸いに存じます。

第 40 回の記念すべき本学術集会が、皆様にとって実り多い会となりますよう、心より願っております。多くの皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

2026 年 4 月吉日